



WWF® for a living planet®

# メカニズムと資金をめぐる議論

ポズナニ会議 (COP14 / COPMOP4) 報告会 2009年1月9日 (金)

WWFジャパン 気候変動プログラムリーダー 山岸 尚之





## 本日の概要

### 1. メカニズムをめぐる議論のポイント

- “将来”(2013年以降)のメカニズム
- 第1約束期間(2008～2012年)のメカニズム

### 2. 資金をめぐる議論のポイント

- 代表例としての「収益の一部」問題を例に



# 1. メカニズムをめぐる議論のポイント





## 将来枠組みの中での“メカニズム”の位置づけ

### □ “柔軟性”メカニズム

- 元来、京都メカニズム(CDM・JI・排出量取引)は、先進国が目標を達成しやすくするための柔軟性メカニズムとして導入された
- 削減目標が持つインパクト(特に費用の重さ)を実質的に変える意味合いがある

### □ 途上国の削減行動の一形態としてのメカニズム

- CDMが京都議定書の中で、途上国が削減に直接的に参加する唯一の仕組みである
- 途上国での削減行動を促す / 支援する仕組みとしての役割に注目が集まっている

### □ 議論の場は2つ

- AWG KP: 先進国が目標達成に使用できる「手段」(means)の1つ
- AWG LCA: 「当該国にとって適切な緩和行動」(NAMAs)の1つ



## 今回は……

### 実質的な議論は起きず

- AWG KP : 非公式協議で意見交換
- AWG LCA : 南アフリカと韓国が提案している削減行動の「登録簿」システムについて、若干の意見交換

### 意見提出の日程

- AWG KP : 2月6日までに
- AWG LCA : 2月15日まで (他も含めて)

次回会合 (3月29日～4月8日) で本格議論の開始？



## 第1約束期間内でのCDM改善をめぐる議論

- 指定運営機関(DOE)の役割強化へ向けて
  - CDMプロジェクトを最初にチェックするDOEの役割の強化
- 追加性審査に客観性？
  - 追加性審査をなるべく客観的に行なうための提案
- プロジェクト分布の地理的不均衡問題
  - 上位4カ国に登録されたプロジェクトの4分の3が集中
  - アフリカは全体の2%しか占めていない
  - この不均衡を是正するための優遇措置の適用範囲をめぐる紛糾





## 今後の議論で注目すべきポイント

### □ 削減と支援のスケールアップにつながるか？

- 途上国でのより大きな削減につながるか
  - セクターを対象にした仕組み

### □ 削減目標に対して“ネット”での削減につながるか？

- CDMは途上国で減らした分は先進国で増やしてもいい(or 減らさなくてもいい)という制度
- このプラスマイナス・ゼロという性質を超えていけるか？
  - 割引率の適用、“ノー・ルーズ”目標

### □ “市場”と“非市場”の使い分け

- 市場メカニズムだけが全てではない
  - SD-PAMs



## 2. 資金をめぐる議論のポイント







## “収益の一部” (share of proceeds) 問題とは？

### 現行ルール

CDMプロジェクトを実施して得られるクレジット(CERs)の一部(2%)を徴収して、適応基金の資金源とする



### 途上国提案

徴収の範囲をCDMだけでなく、他のメカニズム(JIや排出量取引)にも拡大する



- ✓ 絶対的に不足している適応への資金源の拡充
- ✓ 第1約束期間から得られる可能性



# 適応基金の現状と 「収益の一部」拡大が持つインパクト

CDMのみへの適用  
(現状)



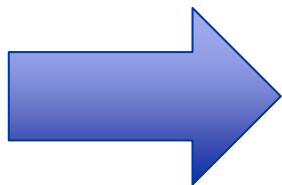
同じ条件(2%)で発行ベースで拡大

第1約束期間(2008~2012年)  
= 年間80億円~300億円 (条約事務局試算)

次期約束期間(2013~2020年)  
= ?

第1約束期間(2008~2012年)  
= 年間5,500億~8,500億円 (条約事務局試算)

次期約束期間(2013~2020年)  
= 年間3,500億~7,000億円 (条約事務局試算)



年間にして数千億~数兆円必要になると言われている適応の費用には、これでもまだ届かない



## 対立の要因と注目ポイント

### 先進国

- 議論自体に消極的
- AWG LCAの場で、他の議論とまとめて議論することを希望

### 途上国

- 今回の議題中でも最も重要なものの1つ
- 今回決着をつけたい

対立

- ✓ 閣僚級会合を経ても合意は成立せず、この問題を含む「議定書9条に基づく見直し」の議題については、合意文書が全く無くなってしまった
- ✓ 途上国における削減対策と適応対策をどう支援していくのか、日本を含む先進国のイニシアチブが求められている



# 資金・技術支援の仕組みは必須





時間は限られている！



ご静聴ありがとうございました

関連資料は：<http://www.wwf.or.jp/climate/>  
ご質問・ご意見は：[yamagishi@wwf.or.jp](mailto:yamagishi@wwf.or.jp)



パンダは皆様のご支援によって支えられています

<http://www.wwf.or.jp/join/>  
<http://www.wwf.or.jp/lena/index.htm>  
**for a living planet®**